



友だちからどれだけたくさん
のことを教えられ
友だちにどれだけ多くのことを教
えることができたのか
が人と関わる力となるのです。

各々の生活から遊びのヒントを得て、遊びあうことが大切です。

各家庭での生活はいろいろ・・・

子どもたちの感覚もいろいろです。

自分で体験したことを遊びで表現することで、体験としての学びが成立します。

そして、友だちと遊ぶことで、十人十色の体験を知り十人十色の学びができるので
す。

『なまはげ』を知っている子が『なまはげ』を説明しながら、『なまはげ』を作っ
て、友だちと共通のイメージをもってごっこ遊びをしていました。そこで『なまはげ』
知らない子が『なまはげ』を知りました。

家族ででかけたことをお互いに伝えあいそれに必要なものを準備して表現しあう
ことで、本当は出かけていない子どもたちもお出かけしたような気持ちになったり、お
店ごっこでは、お店に行ってお買い物をする場面の表現をしあっているいろいろなお店を
知る機会になっています。

一人ひとり経験している場合は、違いますが遊びで表現しあうことで伝達されていく
こと、そこで学びあうことができます。

友だちと遊びあうことで、自分の知らないことを友だちが知っていることがある
ことを知ったり、自分が知っていることでも友だちが知らないこともあることをしり
ます。

友だちができることで自分ができないこと、また自分ができることで友だちがで
きないことも知ります。

友だちと遊びあうことで自分の実力を知り、チャレンジする力を育みます。

友だちと遊びあうことで自分を知ることができるのです。

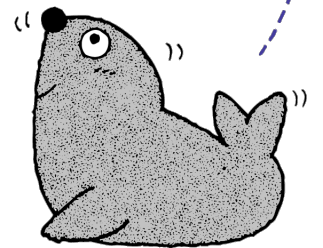
自分を知ること、新たに必要な力にも気づき、挑戦することができるようになり
ます。

すべてに時があります。

一人一人の子どもたちのタイミングに合わせて援助していきたいと思っています。



友だちと遊ぶことによつて、自分のことを



基本保育時間は、
7:00~19:00 です。

7:00~7:30、
18:30~19:00
の利用の場合は、
お知らせください。



10月のおしらせ

☆衣替えの季節になりました。温暖の差が激しいので、半袖・
長袖両方のきがえをご準備ください。パーカーなどは折る者が
あると便利かもしれません。